



男女共同参画週間

【6月23日～29日】

男女共同参画を進めることで、すべての人の権利が保障され、性別にかかわらず個人の個性と能力を發揮できる多様性に富んだ社会を実現することができます。

令和2年に閣議決定された「第5次男女共同参画基本計画」において固定的な性別役割分担意識や性差に関する偏見・固定観念は、往々にして幼少の頃から長年にわたり形成されてきており、女性と男性のいずれにも存在すると指摘されています。

こうした意識や偏見等の解消に向けて、男女の個性の尊重や自他を大切にすることの理解、固定的な性別役割分担意識解消の理解を深める必要があります。

そのための具体的内容として次のようなものがあります。

① 自他を大切にすること

「男性／女性はこうあるべき」という思い込みが社会のあらゆる場面に存在していることや、自他を大切にすることを学びます。

② 男女の個性の尊重

性別にかかわらず一人一人の個性や能力を認め合うことの大切さを学びます。

③ 固定的な性別役割分担意識の解消

社会には性別を理由に期待されている役割分担意識が存在していることを理解した上で、その意識にとらわれずに一人一人にできることを考えます。

男女共同参画に関するキーワード

□無意識の思い込み

(アンコンシャス・バイアス)



誰もが潜在的に思い込みを持っています。育つ環境、所属する集団の中で無意識のうちに脳にきざみこまれ、既成概念、固定観念となっていきます。

例えば「男／女だから〇〇しなさい」

「男／女は〇〇してはいけない」

と言われたことや、言ったことはありませんか？

□固定的な性別役割分担意識

男女を問わず個人の能力等によって役割の分担を決めることが妥当であるにもかかわらず、「男は仕事・女は家庭」、「男性は主要な業務・女性は補助的業務」等のように、男性、女性という性別を理由として、役割を固定的に分ける考え方があります。

例えば〇〇は男／女の役割だ

〇〇は男／女がする

べきことではない



と言われたり、思ったりしたことはありませんか？

大人の無意識の思い込みや固定的な性別役割分担意識に基づく何気ない言動が、子供の男女共同参画への意識や、進路・生き方等に影響を与える可能性があります。性別にかかわらず、一人一人の子供が能力や個性を發揮できるような社会にすることが大切です。

「学校と地域で育む男女共同参画の促進保護者向け啓発資料(小学生)」【文部科学省】から引用させていただきました。